

科目名	家庭総合	学年	1年	使用教科書	家庭総合 東京書籍
		必修(服飾デザイン科)			
		単位数	4単位		
学習の到達目標					
<p>1. 人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。</p> <p>2. 学習した知識や技術を活かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。</p> <p>3. 家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>					
学習方法					
<p>○ 実践的・体験的な学習活動を通して、科学的・総合的にとらえていく。</p> <p>○ 自分の生活から課題を見つけ、生活をよりよくするための工夫を考え、実践できるようにする。</p> <p>○ より深い理解を得て、知識・技能の修得・定着のために、家庭科被服製作・食物調理技術検定の合格を目指す。</p>					
評価方法					
<p>○ 必要な知識を理解しているかを，随時，小テストや学期ごとの考査で確認する。</p> <p>○ 基礎的・基本的な技術の定着やその表現を，提出物や発表方法，生徒相互の評価，自己評価から判定する。</p> <p>○ 授業や実験・実習への参加態度や感想から，関心・意欲を評価する。</p> <p>○ 各項目における課題を，その解決に向けて思考し判断したかを，レポートや課題プリントから評価する。</p> <p>○ 家庭科被服製作・食物調理技術検定の結果</p>					

学期	章タイトル	節タイトル	時数	学習のねらい						
一学期	「家庭総合」の学び方，ホームプロジェクト，キャリア教育	1 生涯発達の視点	2	○家庭科で何を学び，どのような学習活動をしていくのかを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体の教育活動との関連</li> <li>・地域の社会福祉協議会等との連携</li> <li>・HPを常に意識させ後日実施</li> </ul>					
				○HPや家庭クラブの意味と進め方について理解する。						
				○各ライフステージの特徴と課題を理解する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの自分を客観的に振り返らせる。</li> <li>・「倫理」や「総合的な学習」との関連</li> <li>・キャリア教育との関連</li> </ul>				
	○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つけ，職業選択も見通す。									
	第7章 衣生活をつくる	1 被服の役割を考える	2 青年期の課題	2	○固定的な性別役割分業意識を見直し，男女が相互に協力して家庭を築き，家族関係をつくる必要性を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見本を用いた実験・実習や視聴覚教材を活用する。</li> <li>・中学校での学習状況を把握する。</li> <li>・被服製作については，できるだけ個人の創意を取り入れる部分をもうける。</li> </ul>				
					4 被服を作る		1 2	○被服のさまざまな役割を整理する。		
								2 被服を入手する	3	○被服材料の特徴を理解し，組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などの意味が分かる。
										3 被服を管理する
								5 衣生活の文化と知恵	1	
	6 これからの衣生活	3	○正しい採寸方法を知り，自分のサイズが分かる。							
			6 これからの衣生活	3	3	○被服製作の基本的事項を確認し，自分に合った被服の製作ができる。				
6 これからの衣生活	3	3				○布を使った伝統的な生活の工夫を知り，現代に生かす。				
			6 これからの衣生活	3	3	○生涯を通じて健康で安全な				

				衣生活が営めるようになる。	
	第1章 自分らしい人生をつくる	4 人生をつくる	6	○家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し，現在の動きを知る。 ○家事労働・職業労働について知り，ワーク・ライフ・バランスについて考える。	・ライフコースの参考になる各種例や資料を示し，集めさせる。
		5 家族・家庭を見つめる	4		
		6 これからの家庭生活と社会	4		
	第3章 高齢社会を生きる	1 高齢期を理解する	2	○高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢期の心身の変化や特徴と，個人差が大きいことを理解する。 ○高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ○身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ○高齢者に関する福祉について学び，高齢者を支える制度と課題を考える。	・身近な高齢者と接触する機会をもつ。 ・高齢者に関する情報を調べさせる。 ・高齢者施設や家庭クラブ活動との連携 ・第4章との関連 ・「現代社会」「政治経済」との関連
		2 高齢者の心身の特徴	3		
		3 高齢者を支える	3		
		4 これからの高齢社会	2		
一学期	第8章 住生活をつくる	1 住生活について考える	4	○住居の機能を考える。 ○平面図の基礎知識を得て，間取りが理解できる。 ○ライフステージに合った住居を考える。 ○住居を選ぶ際，室内外の環境に着目し，安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。 ○バリアフリーの考え方を理解し，身につける。 ○気候風土に応じたさまざまな住様式が存在することを学ぶ。 ○住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し，持続可能な住生活とは何か考える。	・住宅広告や住宅情報誌，インターネットなどを活用する。 ・住まいに対するイメージを広げる。
		2 住生活の計画と選択	4		
		3 住生活の文化	2		
		4 これからの住生活	3		
	第6章 食生活をつくる	1 食生活について考える	3	○住居の機能を考える。 ○平面図の基礎知識を得て，間取りが理解できる。 ○ライフステージに合った住居を考える。 ○住居を選ぶ際，室内外の環境に着目し，安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。 ○バリアフリーの考え方を理解し，身につける。 ○気候風土に応じたさまざまな住様式が存在することを学ぶ。 ○住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し，持続可能な住生活とは何か考える。	・小中学校での学習内容との系統性 ・食品成分表の見方を指導し活用する。 ・食品の1日の摂取量を実物や見本などで示し，具体的に把握させる。 ・実習の計画性・安全性にじゅうぶん配慮する。
		2 食事と栄養・食品	8		
		3 食生活の安全と衛生	3		
		4 生涯の健康を見通した食事計画	2		
		5 調理の基礎	6		
		7 これからの食生活	5		
	6 食生活と文化	2			
	第2章 子どもと共に育つ	1 命を育む	2	○出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。	・視聴覚教材の活用 ・子どもに関する

三 学 期		2 子どもの育つ力を知る	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ぶ。</li> <li>○ 遊び，基本的な生活習慣の形成，食事，健康管理について学ぶ。</li> <li>○ 子どもとの触れ合いを通して，愛着の形成と親としての成長を理解する。</li> <li>○ 子どもを取りまく社会変化の現状について理解し，考える。</li> <li>○ 児童福祉の理念を理解し，子育て支援の現状を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>る情報を調べさせる。</li> <li>・ 幼稚園，保育園等との連携，家庭クラブ活動との関連</li> <li>・ 第4章との関連</li> <li>・ 「保健」との関連</li> </ul>
		3 親として共に育つ	6		
		4 子どもとの触れ合いから学ぶ	1		
		5 これからの保育環境	3		
	第4章 共に生き，共に支える	1 私たちの生活と福祉	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。</li> <li>○ 多様な人々のニーズ，ノーマライゼーションの理念を理解し，ユニバーサルデザインを具体的に考える。</li> <li>○ 社会保障制度の理念と内容を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2・3章との関連</li> <li>・ 「現代社会」「政治・経済」との連携</li> <li>・ 学校家庭クラブとの関連</li> </ul>
		2 共に生きる	2		
		3 社会保障の考え方	2		
	第5章 経済生活を営む	1 職業生活を設計する	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校卒業後について，経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。</li> <li>○ 生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し，ライフステージごとのポイントを知る。</li> <li>○ 国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。</li> <li>○ 消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。</li> <li>○ キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え，契約や消費者信用，多重債務問題などを学習し，消費者として適切な判断ができるようにする。</li> <li>○ 消費者基本法を通して，消費者には権利と責任があることを理解する。</li> <li>○ 大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え，持続可能な生活ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実生活の家計の収支を認識させる。</li> <li>・ クレジット払い等のリスクを実感させる。</li> <li>・ 日常のニュースから実際に起こっている消費者問題を集めさせる。</li> <li>・ 持続可能な社会になるために自分でできることを考えさせる。</li> <li>・ 第9章との関連</li> </ul>
		2 計画的に使う	3		
		3 国民経済・国際経済と家庭の経済生活	1		
		4 消費行動と意思決定	1		
		5 現代の消費社会	6		
		6 消費者の権利と責任	1		
		7 これからの消費生活と環境	4		
	第9章 生活を設計する	生涯を見通す	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今までの学習を踏まえ，キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。</li> <li>○ 自分の目指すライフスタイルを考え，高校卒業後の生活設計を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連するデータや視聴覚教材を用意したり，自分で集めさせる。</li> </ul>